

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

- 日時 令和6年11月14日(木) 14:15～
- 場所 群馬県立藤岡中央高等学校 大会議室
- 委員 地域住民4名(近隣中学校長、地元区長、幼稚園園長、青年会議所)、保護者2名(PTA役員)、PTA・同窓会関係2名(会長)、学識経験者3名、行政機関1名・・・計12名(内欠席2名)
- 群馬県教育委員会 指導主事2名
- 館林商工高校 地域学校協働活動推進員1名
- 藤岡中央高校 校長、教頭、定時制教頭、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、CS推進員

I 第2回学校運営協議会

1 開会(教頭)

2 あいさつ

・協議会より(会長)

前回の熟議により、高校の先生方と委員の距離が近づいた。協議会は学校(校長)のブレインだと思う。運営協議会で委員が発言できる雰囲気が必要。学校の評判は、良いことは聞こえてくるが、悪いことは聞こえてこない。熟議をさらに進展させることが必要。良いこと悪いことを互いに言い合い、生徒育成につなげていきたい。

・学校より(校長)

本日、ふじおか未来探究の2年生の発表を見ていただく。前回と同様に熟議で、藤岡中央高校で、育てたい生徒像と身につけさせたい力について話し合っていたきたい。

本日参加の指導主事2名と館林商工高等学校の推進員の紹介。

3 授業参観 2年生「ふじおか未来探究」【中間発表】

1つのクラスが、6グループに分かれて、グループごとに発表。2地区毎4会場で同時に進行。

(グループのテーマの一例) 空き家と地域の魅力的な資源を活用して「魅力的な町」をつくるために、私たちはどうすればよいのか? 等

4 グループ熟議 付箋に書き、模造紙に張り付けたものを、同じものをまとめて1つの付箋にする。

(1) 前回の「生徒のどのような力・心を育てたいか」をグループでまとめる。

(2) 前回の「そのためになにができるか、何をしているか」をグループでまとめる。

5 課題共有

各グループでまとめた付箋を1つの模造紙に貼り、全員で共有し、同様の言葉を4グループに分けた。

(1) ①学ぶ力 ②学ぶことの必要性を感じることができる働きかけ。等

(2) ①協調性 ②色々な人、様々な世代との交流。地域のお祭りなどに参加。等

(3) ①主体性、コミュニケーション能力 ②授業内のコミュニケーション、ALT活用、留学。等

(4) ①自分の核を持つ ②自分の意見をしっかり伝える話し合いの機会。等

6 主事主任より

・教務主任

学校評価一覧表の完成版について、コメントをお願いしたい。藤岡中央高校入学者選抜の受検生の倍率について。活性化委員会でも考えるが、活力維持のための良い案を伺いたい。

・生徒指導主事

生徒のモラルの向上について、アドバイスをいただきたい。

・進路指導主事

土曜課外、平日補習のこれからの方向性をどうするか。

7 閉会(教頭)

諸連絡 第4回 学校運営協議会 令和7年2月4日(火) 合同発表会